

充実した福祉活動

吉田龍登 佐藤日咲
福田瑞姫 川本玖季



提言

福島町は若者を起点とする
地域活性化の政策を行うと良いと考えました。

提言設定理由1

10年後、福祉が充実しており、
若者・活気に満ち溢れるような
町であってほしい

提言設定の理由2

- 人口や働き場の減少
- 移動手段が少ない



提言設定の理由3

- **資格取得以外の高齢者に対する支援金制度を充実**
- **どの年代でも暮らしやすくするための
ユニバーサルデザインやバリアフリーなどの設置**

提言の具体1

提言の最終目標：地域活性化

函館—福島町間の移住計画

函館へ通勤する人向け（20代～30代）

→ ・ バス運行（函館駅付近の会社に勤める人）



提言の具体1

提言の最終目標：地域活性化

道外—福島町への移住計画

若い世代（10代～20代）

- ・ 商業高校の全国募集
- ・ 第一次産業に興味がある人を募ること
- ・ 転職や新しいことへ挑戦したい人の後押し
- ・ 資格取得の支援制度

提言の具体1

提言の最終目標：地域活性化

2つの取り組みの共通点

ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備
の充実化によってさらに取り組みの良さが見えてくる

提言の具体2

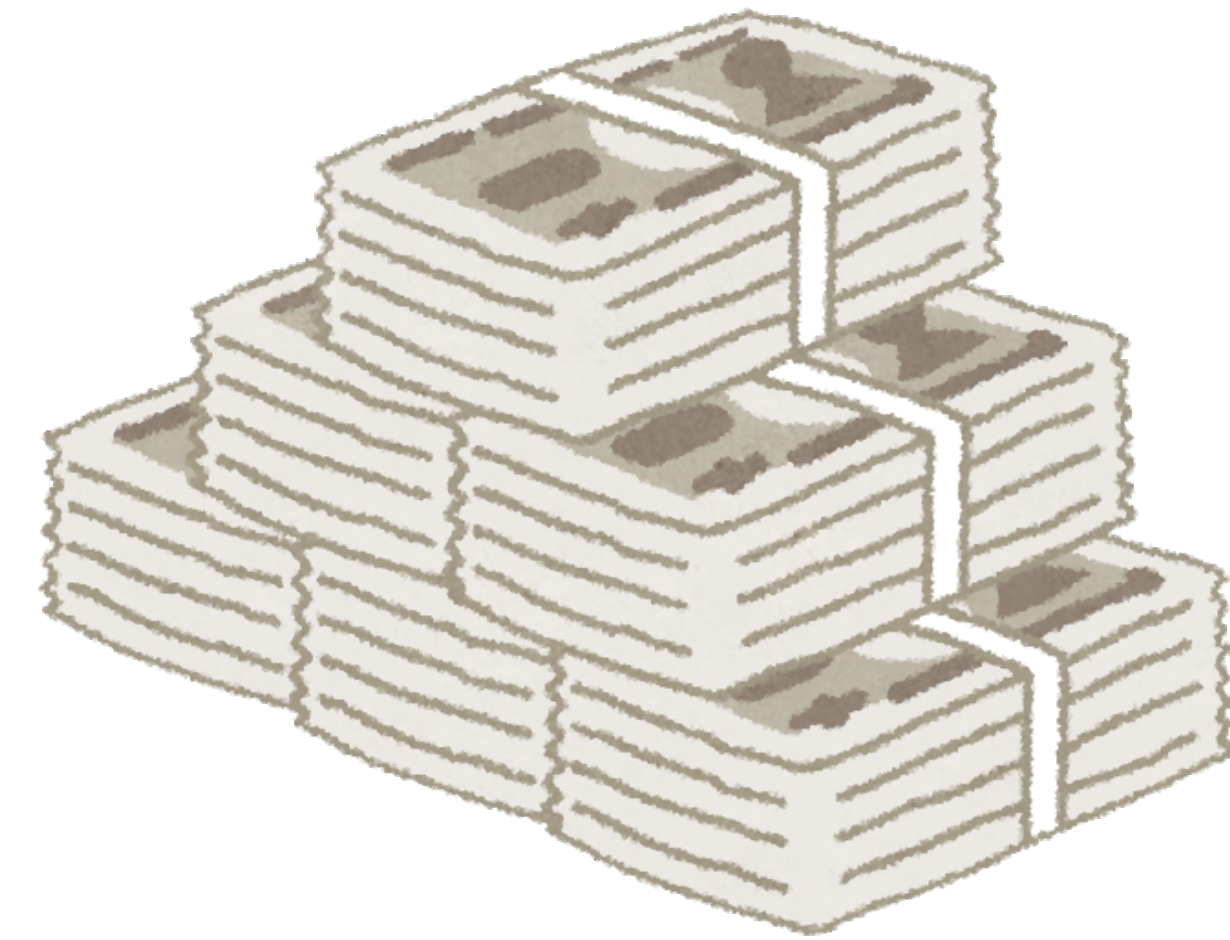
地方税

→ 取り組みから得られる財源

地方交付税

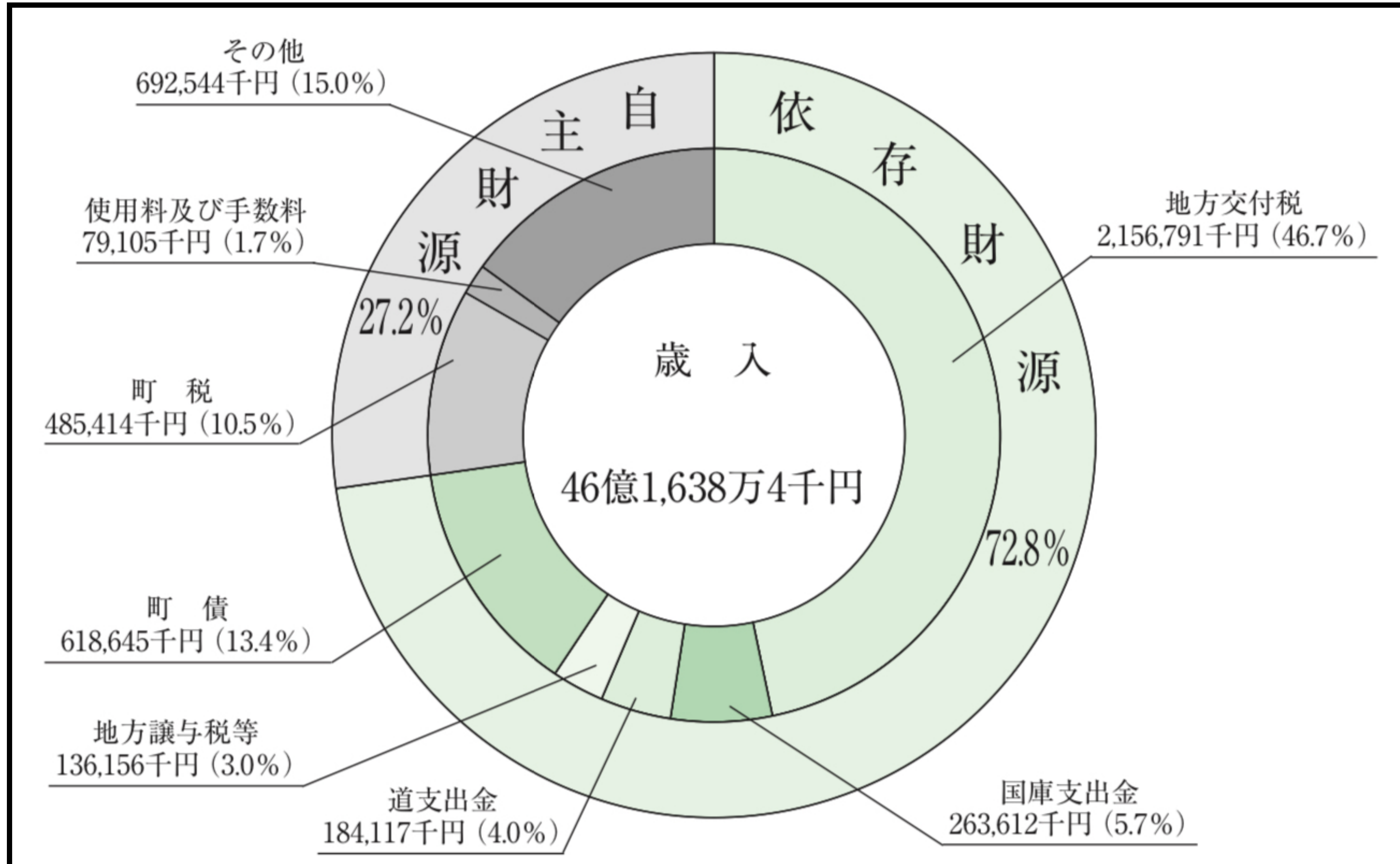
→ 取り組み前から使う財源

(自由に使える財源であるから)



提言の具体2

(2024年11月広報)



提言の具体3

総務課・税務課

→ 財政管理（定住の契約等）

企画課

→ 函館へのPR活動

福祉課・建設課

→ 設備の提案・建設



まとめ

どのような取り組みをすれば良いか

交通費の負担

→ 函館駅を中心に通勤してもらったための負担・支援
(バス、タクシー)



まとめ

どのような取り組みをすれば良いか

支援金制度を充実

→少子高齢化を少しでも改善させるため



まとめ

どのような取り組みをすれば良いか

ユニバーサルデザイン、バリアフリーを増やす

→生活環境を整え、住みやすい街づくりにするため

資格取得に対しての支援



今後の要望・期待

都市部→人口集中

地域→過疎化

町民一人一人が発信していくこと



若者・活気にあふれる町